

令和 2年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	峯村 清一
全体計画	平成30年度 ~ 令和 2年度			経費区分	実施計画事業費			内線	3622		
事務事業名	10721 文化施設整備事業										
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課										
施 策	04011900 生涯学習・文化・芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	100610 教育費・社会教育費・文化施設管理費									
	事業	020000 文化施設整備事業									
事業目的						事業概要・効果					
文化会館メセナホール等の文化施設の改修、修繕を進める。						文化会館メセナホール等の文化施設の改修、修繕を進めると共に、建築から20年前後を経過するため、大規模改修を実施する。令和2年度 世界の民俗人形博物館の長寿命化工事 令和3年度 須坂版画美術館長寿命化工事 令和4年度					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
メセナホール吸収冷温水機（R-2号機）修繕	メセナホールトイレ洋式化工事
平成29年度 実績	平成30年度 実績
メセナホール音響設備改修工事	メセナホールの長寿命化工事実施に向け、工事優先度調査及び基本設計を行い、今後の改修に向けて準備ができた。
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
メセナホール長寿命化等工事実施設計業務の実施した。 笠鉾会館を博物館に転用する設計業務の実施した。 アートパーク駐車場トイレを洋式化した。	メセナホール非構造部材耐震化・長寿命化等工事 笠鉾会館展示改修工事 笠鉾会館エレベータ改修工事 長寿命化基本調査（笠鉾・版画・人形）

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		37,522	1,478,319
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	35,000	1,370,600
	その他	2,000	90,000
一般財源		522	17,719
人員数(人)	正規職員	0.3	0.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,179.5	1,453.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,179.5	1,453.0
市民一人当たりの経費		0.8	28.3
総額		39,701.5	1,479,772.0

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	36,388	測量設計委託料36,388
15節 工事請負費	1,134	アートパークトイレ改修1,134
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	31,065	長寿命化基本調査委託料1,500、須坂市文化会館改修監理業務委託料27,600、旧小田切家住宅及びまゆぐら展示パネル等作成委託料1,965
14節 工事請負費	1,447,220	須坂市文化会館改修1,447,220
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	34	役務費 笠鉾会館エレベータ改修建築確認申請等手数料34

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化解消及び既存不適格対応のため、施設や設備の改修は必要不可欠である。 笠鉾会館は機能分散型総合総合博物館の分館として整備する。 	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	計画的な整備を進めているが、財源が確保できないなどから施設の老朽化に整備が追い付いていない。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	緊急防災減災事業や公共施設等適正管理推進事業債など、有利な起債を活用している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

いずれの事業も予定通り設計等が完了した。今後の他施設の長寿命化が課題。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）	次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
施設の長寿命化により長く大切に使う方策を検討する。 。		<ul style="list-style-type: none"> ・機能分差型総合博物館構築のため、設計施工一体型でのメリットを生かした改修を行う。 ・非構造部材耐震化、長寿命化の設計に基づき改修を進める。 	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	